

「総ぐるみ」新聞

NPO 総ぐるみ福祉の会事務所は日限山 4・45・10（八四六一八八五〇）
入会や活動のお問い合わせ先は、事務所または「日限山荘」日限山 4・7・1

茶話会 「昭和二十年頃の世相」を話題にして

中 康行

週二回、火曜日と金曜日に開催している日限山荘の食事会において、話題を広げるきっかけとして、また、男性にも多く参加してもらいたいということから、昔の映像を放映して思い出話をしてはどうかと考えました。試みに、ビデオ集【昭和の映像】の一部である「占領から講和へ」（昭和二十〇〜二十七年）の世の中の動きを放映することにしました。

◆ビデオの内容紹介

連合国軍の最高司令官、マッカーサー元帥が厚木飛行場に降り立つ所から始まります。その後、アメリカ軍がジープに乗って、焼け野原となった各街へ進駐する様子や、迎える大人や子供達の姿があり、街の人達には、戦争が終わってほっとした様子が見られます。闇市では、生活用品や食料品、アメリカ軍の横流し品が売られ、人々にぎわっています。道端では、通行人に呼びかけて靴磨きをする人、海外から引き上げて来た復員兵、ボロボロの服を着た親を亡くした子供達が見えます。食べ物や配給を受けるために配給符を手に並ぶ人々、皆気長に並んでいます。食料メーデーに立ち上がる人々は、空腹に耐えかねて、やっていたのでしょうか。

美空ひばりがデビューして「悲しき口笛」が大ヒットしますが、それは数少ない明るいニュースでした。また、アメリカ映画が映画館で上映されるようになり、大人気でした。約一時間にわたり、当時の世相のビデオ映像を見ました。

◆私の戦争中の思い出

京都市内に住んでいた私は、当時四歳でした。空襲警報のサイレンが鳴ると、母から急いで防空ズキンを頭にかぶされ、家の近くに掘られた防空壕に逃げ込んだものです。そこには、近所の人達が不安顔で入っていました。しかし、京都は幸い空襲もなく、街は破壊されることもなく終戦を迎えました。

終戦後、父に連れられ大阪心斎橋近くの叔父の家に行ったのですが、梅田から地下鉄に乗り換え、心斎橋駅で降りると、戦災孤児が道行く人に新聞やお花を売っていました。あたり一面空き地ばかりで、風呂屋の煙突と土蔵がぼつりぼつりと残って、建っていたのが印象に残ります。大阪は三月十四日に大空襲を受けて、中心部は全滅状態になっていたのです。その時従兄弟が、大阪から京都の私の家まで、夜中に歩いて逃げて来たのを覚えて

います。どうしてこんな戦争が起こったのかと、疑問に考えたのが、歴史に興味を持つきっかけになったように思います。

◆放映後の座談会

早速発言があり、当時十九歳だった男性は「戦争に日本が負けることは予想出来たが、それは言っていないことで、何時どういう形で戦争が終わるかに関心があった。八月十五日に、天皇陛下がラジオで話された言葉は良く理解できず、後から、戦争に負けたことを知った」こと、その後、英文タイプライターを習い、学校は試験の日だけ出席して、他の日はアルバイトで働いていたと話した。

ある女性は「当時十五歳でしたが、英文タイプを習ってアメリカ軍のPX（売店）で働いた」こと、PXには、街で日本人が入手出来ない、あらゆる物が揃っていたと話された。また、ある男性は「戦争がどうして起こったのか検証することが大切である。ただ戦争はいけない、嫌いだと言うだけでは防止出来ない」と話されたが、重い言葉だと思う。

戦争は、その時の世界の動きや、日本国内の状況によって、それなりの理由があつて起こっている。あとさまざまな発言があつたが、懐かしいだけでなく、悲しさや辛さも少しよみがえる、何か重いテーマでした。

昔の映像は、参加者十九名に、かなりのインパクトを与えたように思われます。

たまり場 日限山荘日誌(抜粋)

◆4月15日(金)

竹の子ご飯
なめことキャベツのみそ汁
炒り豆腐
きゅうりとしらすの酢の物
・清さんよりコーヒーゼリー、大橋さんよりぬか漬の差し入れあり。
参加者：男性2名、女性21名(内、3丁目の方6名)、配食5名
調理担当：清、宮竹、桑田、三由、渡世
マツサージ：5名

◆5月27日(金)

ご飯
石狩みそ汁
ひろうずの煮おろし
塩昆布サラダ
参加者：男性4名、女性16名、配食8名
調理担当：門脇、宮竹、杉崎、三由、渡世

◆6月14日(火)

ご飯
まーぼー豆腐
野菜6種類の揚げ浸し
野菜と卵の炒め物
・宮崎さんより炭酸せんべい。渡世さんよりうる抜き大根の即席漬け、寺島さんよりチョコレートの差し入れあり。
参加者：男性3名、女性17名、配食9名
調理担当：河合、菊地、宮井、三由、渡世、
鶏肉とごぼうの炊き込みご飯

◆9月13日(火)

豆腐・油揚げ・人参のみそ汁
一口カツ、かき揚げてんぷら
じゃが芋の素揚げ、甘酢あんかけ
春雨とハム・きゅうりの酢の物
・大橋さんよりぬか漬の差し入れあり。
参加者：男性5名、女性17名、配食10名、芙蓉苑ケアマネジャーと市役所員
調理担当：大橋、清、三由、渡世、杉崎
健康体操：9名参加

◆9月23日(金)

ご飯
わかめと豆腐のみそ汁
天津井風
五目豆
えのき茸の和え物
参加者：男性3名、女性18名、配食10名
調理担当：河合、菊地、宮井、三由、渡世
布ぞうり作り：4名参加

◆10月7日(金)

ひじきご飯
えのき茸・湯葉・ねぎのみそ汁
すき身たちの甘酢ソース
根菜のそぼろ煮
・門脇さんよりぬれ金つば、大橋さんよりぬか漬の差し入れあり。
参加者：男性3名、女性13名、配食10名
調理担当：門脇、桑田、宮崎、三由、渡世

参加者：男性6名、女性16名、配食9名
調理担当：清、森本、三由、渡世、河西

◆10月28日(金)

確井助吉様、満百歳の誕生日パーティー
ちらし寿司
わかめ・小エビ・卵のみそ汁
鶏の唐揚げ・きのこのかき揚げ
お漬物
・総ぐるみ福祉の会より果物、庄司さんよりケーキの差し入れあり。
参加者：男性7名、女性17名、配食9名
調理担当：大橋、宮崎、三由、渡世、河西

* * *

10月31日に満百歳の誕生日を迎える確井さん、日限山荘に欠かさず来て下さっているので、ご本人には内緒で準備をしていました。大橋さんが大きな額を作って飾り、祝いの食膳を整えてくださいました。
松永さんが詩吟「宝船」を朗々と吟じてくださり、宮崎理事長からお祝いの花のアレンジメントが贈呈され、全員で、ハッピーバースデーの歌を合唱して祝いました。

